

高懸雄治教授の履歴，研究業績等の概略

■略歴

- 1941年3月4日 北海道空知管内幌向村（現・南幌町）に生まれる
- 1967年3月 法政大学経済学部経済学科卒業
- 1971年3月 法政大学大学院社会科学研究科経済学専攻修士課程修了
- 1978年3月 國學院大学大学院経済学研究科経済学専攻博士課程単位取得退学
- 1997年3月 博士（経済学），國學院大学
-
- 1971年4月 銀行労働研究会勤務
- 1974年4月 大蔵省調査企画課財政史室非常勤職員
- 1978年4月 旭川大学経済学部専任講師
- 1980年4月 旭川大学経済学部助教授
- 1986年4月 旭川大学経済学部教授
- 1991年4月 メキシコ国立自治大学（UNAM）ラテンアメリカ研究センター客員研究員
- 1998年4月 札幌学院大学経済学部教授
- 2002年4月 メキシコ国立自治大学（UNAM）経済研究所客員研究員
- 2006年4月 札幌学院大学経済学部経済学科長
- 2009年4月 札幌学院大学名誉教授

■学会および社会における活動

〈所属学会〉

信用理論研究学会，日本金融学会，日本国際経済学会

〈非常勤講師〉

北海学園大学，北星学園大学，札幌大学，酪農学園大学，旭川工業高等専門学校

■主要研究業績

(1) 著書

- 1972年7月 銀行労働研究会・独占分析研究会編『日本の金融独占』（下）（共著） 新日本出版社
- 1992年11月 熊野剛雄・龍昇吉編『現代日本の金融』（共著） 大月書店
- 1995年4月 『ドル体制とNAFTA—中枢=周辺関係の現代的構図—』（単著） 青木書店

- 1999年4月 奥田宏司・横田綏子・神沢正典編『国際金融のすべて』(共著) 法律文化社
 2002年4月 金融辞典編集委員会編『大月 金融辞典』(共著) 大月書店
 2006年2月 信用理論研究会編『金融グローバル化の理論』(共著) 大月書店
 2006年4月 奥田宏司・横田綏子・神沢正典編『現代国際金融—構図と解明—』(共著)
 法律文化社

(2) 論文

- 1972年7月 「日本銀行の基本的性格—日銀は誰のものか—」『日本の金融独占』(下)
 (新日本出版社)
 1976年3月 「『国際的金為替本位制』論への疑義—『金1オンス=35ドル』の基本性格
 をめぐって—」『国学院大学大学院紀要』第7号
 1977年3月 「世界貨幣の独自性について」『国学院大学大学院紀要』第8号
 1977年6月 「『強制通用力の国際的適用』説について—今宮謙二氏の所説への疑問—」
 (筆名・冬木拓)『経済』(新日本出版社)1977年6月号
 1980年10月 「スタグフレーションの論理展開について—シャーマン説の批判的検討—」
 『旭川大学紀要』第11号
 1983年11月 「スタグフレーションの論理展開について—大内力『労働者脱社会化』説
 批判—」『旭川大学紀要』第17号
 1985年4月 「途上国の対外債務危機について—金融・貿易的環境—」『旭川大学紀要』
 第20号
 1985年8月 「スタグフレーションと国際金融危機—途上国債務問題と関連して—」『銀
 行労働調査時報』(銀行労働研究会),第436号,1985年8月号
 1986年2月 「アメリカ『債務国転落』の経済構造—パクス・アメリカーナの破綻—」
 『銀行労働調査時報』(銀行労働研究会),第442号,1986年2月号
 1988年6月 「中南米債務危機の新段階—債務棒引論アプローチ—」『銀行労働調査時報』
 (銀行労働研究会)1988年6月号
 1988年9月 「途上国債務危機と日本の金融—『補完的肩代り金融』アプローチ—」『経
 済』(新日本出版社)1988年9月号
 1989年9月 「『円パワー』の政治経済学—D.バースタイン『YEN!』への異論—」『経
 済』(新日本出版社)1989年9月号
 1989年10月 「途上国債務危機と債務棒引論」『国際経済』(国際経済学会)第40号
 1990年8月 「ドル体制と国際金融危機」『経済』(新日本出版社)1990年8月号

- 1991年1月 「ブッシュ政権のラテンアメリカ経済戦略—債務削減・自由貿易圏・産業
民営化—」『アジア・アフリカ研究』（アジア・アフリカ研究所）第31巻第
1号
- 1992年11月 「日本金融独占の資本輸出」『現代日本の金融』（大月書店）
- 1993年1月 「北米自由貿易圏—メキシコの現実と戦略—」『経済』（新日本出版社）1993
年1月号
- 1997年1月 「メキシコの金融危機について—ペソ暴落（1994年12月）前後—」『札幌
学院商経論集』第13巻第3号
- 1999年4月 「メキシコの債務問題と金融危機」『国際金融のすべて』（法律文化社）
- 1999年5月 「新自由主義と途上国経済—金融危機の世界的連鎖—」『経済』（新日本出
版社）1999年5月号
- 1999年10月 「メキシコの通貨・金融危機—ドル体制と NAFTA—」『信用理論研究』（信
用理論研究学会）第17号
- 2003年3月 「メキシコの経済事情」『ラテン・アメリカ時報』（ラテン・アメリカ協会）
第46巻第3号
- 2005年6月 「日本・メキシコ経済連携協定—誰のために、何のための FTA か—」『経
済』（新日本出版社）2005年6月号
- 2006年2月 「債務危機と金融危機—1980年代と1990年代—」『金融グローバリゼーショ
ンの理論』（大月書店）
- 2006年4月 「通貨危機の現代的様相—新興国の1990年代—」『現代国際金融』（法律文
化社）
- (3) 書評
- 1976年12月 谷田庄三『現代日本の銀行資本』（ミネルヴァ書房）『国民生活研究』（国民
生活センター）第16巻第3号
- 1987年11月 中村雅秀編著『累積債務の政治経済学』（ミネルヴァ書房）『旭川大学紀要』
第25号
- 1988年9月 松村文武『債務国アメリカの構造』（同文館）『証券経済』（日本証券経済研
究所）第165号
- 1989年3月 毛利良一『国際債務危機の経済学』（東洋経済新報社）『日本福祉大学研究
紀要』第79号
- 1994年1月 工藤 晃『九〇年代不況』（新日本出版社）『労働運動』（新日本出版社）第
349号，1994年1月号

1996年6月 今宮謙二『金融不安定構造』（新日本出版社）『銀行労働調査時報』（銀行労働研究会）第563号，1996年6月号

2006年5月 萬谷迪『世界開発と南北問題』（八朔社）『経済』（新日本出版社）2006年5月号

(4) 辞典

金融辞典編集委員会編『大月 金融辞典』2002年4月，大月書店。

執筆項目——金融制度（メキシコ），カントリー・リスク，債務の株式化，ソブリン・ローン，デット・サービス・レシオ，パリ・クラブ，ブレイディ案，ベーカー提案，メニュー・アプローチ，リスケジュール，リファイナンス，累積債務問題，オイル・マネー。

(5) 評論

1988年5月 「『メキシコ方式』と累積債務軽減の可能性」『経済』5月号

1988年12月 「IMF・世銀総会と『宮沢構想』」『経済』12月号

1991年1月 「メキシコにおける経済再建と北米化への始動」『経済』1月号

1994年9月 「メキシコ光と影」『北海道新聞』（夕刊）9月12日付

2000年12月 「メキシコ，21世紀への離陸——『カンビオ』は可能か」『北海道新聞』（夕刊）12月14日付

2007年3月 「変革への歴史的胎動—大統領が二人!?—」（メキシコ探訪）札幌学院大学『経済学部報』創刊号

(6) その他

1990年6月 <教育>「国際化時代にふさわしいグローバルな知識人の育成—旭川大学貿易学科—」『私学経営』第184号，6月号

1992年12月 <紹介>「飛ぶ鳥が落ちてくる！」旭川大学図書館『図書館報』第35号，12月

1999年1月 <講演>（全文）「世界金融危機とカジノ資本主義—今，なぜ『恐怖の連鎖]か—」『北海道経済』（北海道経済研究所）1月号

2003年3月 <断想>「チェ・ゲバラ紀行—遙かなるサンタ・クララへ—」『札幌学院評論』第26号

2004年4月 <紹介>「メキシコ国立自治大学中央図書館」札幌学院大学図書館報『書林』（電子版）第65号

- 2006年3月 <座談会>「国際社会の課題と私たちにできること」(共著)『札幌学院評論』第29号
- 2009年8月 <随想>「チェとオードリー」『経済』(新日本出版社)2009年8月号
- 2010年7月 <講演>(要旨)「貧困をなくそう ゲバラ、ヘプバーンに共通の思い」『北海道新聞』2010年7月4日付
- 2010年7月 <講演>(全文)「チェ・ゲバラとオードリー・ヘプバーン—戦争・貧困・平和—」『金融労働調査時報』(銀行労働研究会)第707号,2010年7月号

■学会報告

- 1980年10月25日 「シャーマン『スタグフレーション』論批判」(金融学会・信用理論研究会合同北海道部会(北海道大学))
- 1984年6月16日 「スタグフレーションの論理展開について—大内力『労働者脱社会化』説批判—」信用理論研究会北海道部会(北海道大学)
- 1985年5月25日 「途上国の対外債務危機について」金融学会北海道部会(北洋相互銀行本店)
- 1988年10月15日 「途上国債務危機と債務棒引論」国際経済学会全国大会(同志社大学)
- 1992年12月19日 「NAFTAとメキシコ経済」信用理論研究学会北海道部会(北海道大学)
- 1995年5月13日 「ドル体制とNAFTA」信用理論研究学会北海道部会(北海学園大学)
- 1997年3月22日 「メキシコ金融危機について—ペソ暴落(1994年12月)前後—」信用理論研究学会北海道部会(北海学園大学)
- 1997年10月10日 「(コメンテーター)田島陽一氏(立命館大学)の報告に対するコメンテーター」国際経済学会全国大会(西南学院大学)
- 1998年5月5日 「メキシコの通貨・金融危機—ドル体制とNAFTA—」信用理論研究学会全国大会(東京経済大学)
- 2002年10月26日 「メキシコの政治・経済の現状について」日本金融学会北海道部会(札幌市・北海道経済センター)
- 2005年8月27日 「日本・メキシコ経済連携協定(EPA)について」信用理論研究学会,日本金融学会北海道部会(北海学園大学)

■学外研究

1991年4月～1992年3月

「メキシコおよびラテンアメリカにおける対外債務危機について」メキシコ国立自治大学（UNAM）政治社会学部ラテンアメリカ研究センター（CELA）

2002年4月～2002年9月

「ラテンアメリカの地域経済統合と金融危機」メキシコ国立自治大学（UNAM）経済学部経済研究所（IIE）

■学外研究助成費による研究

1995年4月～1997年3月

「北米自由貿易協定と米州自由貿易圏構想の理論的実証的総合研究」文部省科学研究費（基礎研究A，研究代表・一橋大学教授 平井規之）